

BSE検査体制の整備

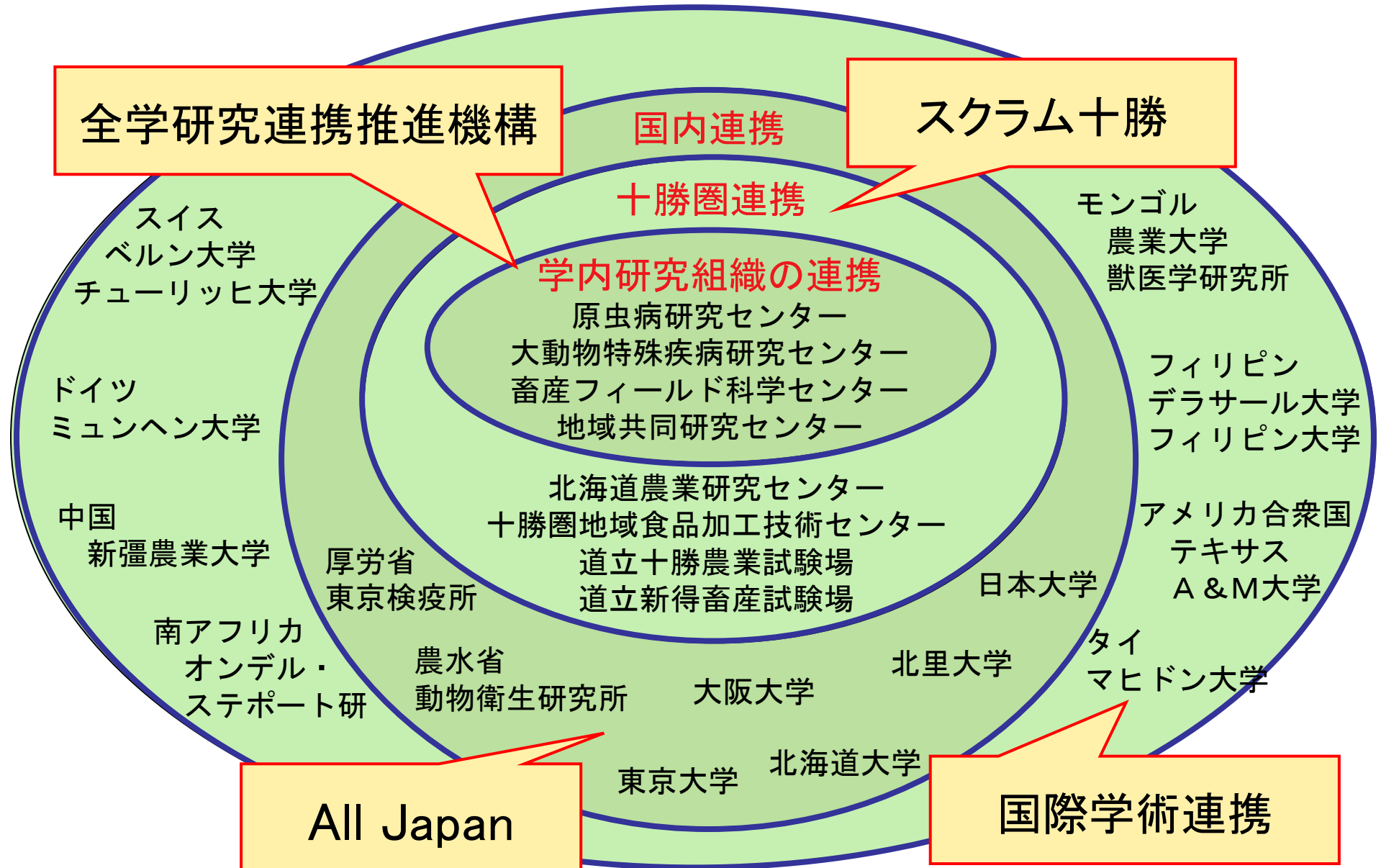
獣医学教育および研究推進に活用

肉骨粉などの資源として再利用化を検討

BSEをはじめとする各種動物感染症の疫学調査

大動物特殊疾病検査体制は全国で本学のみ

帯広畜産大学の学術連携構想



「スクラム十勝」結成(平成17年3月)



北海道農業研究センター
芽室研究拠点

十勝圏地域食品加工
技術センター

道立畜産試験場

道立十勝農業試験場

帯広畜産大学

「食の安全監視」の現状と課題

食品を巡る諸問題が続発

BSEの発生

鳥インフルエンザ

クリプトスポリジウム原虫

食中毒

遺伝子組換え植物

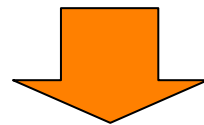
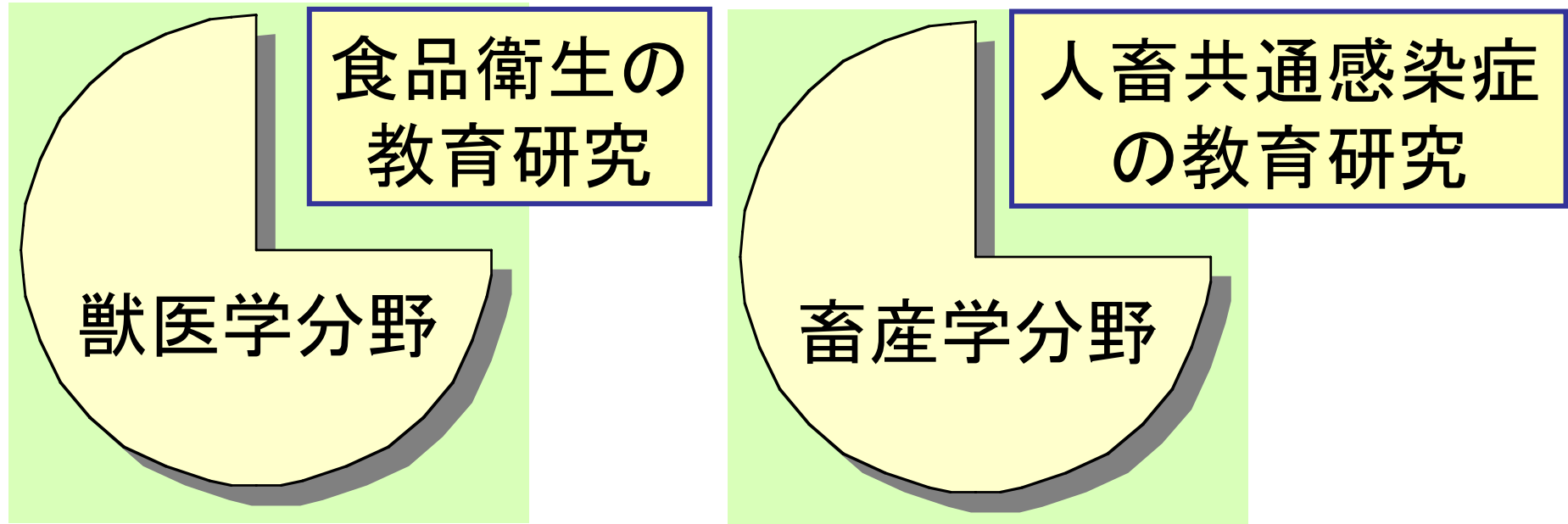
残留農薬

社会と時代の要請

農場から食卓までの
食の安全確保が必要

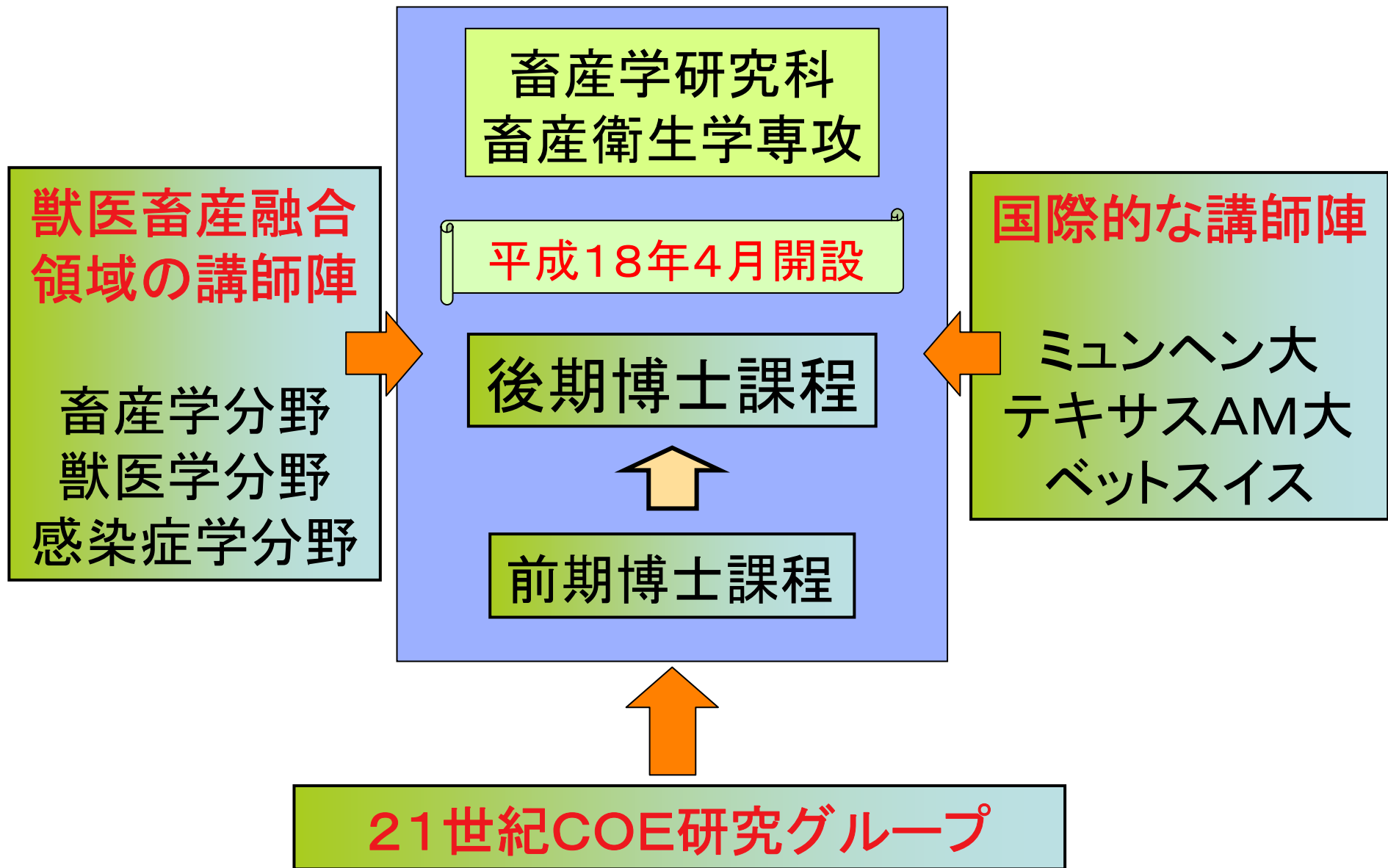
畜産衛生あるいは食品衛生に
関する専門家が不足している

従来の我が国の大学教育



獣医畜産融合分野の創設による
教育研究が必要

「食の安全監視」研究教育特化組織



専攻の教育研究内容

「食の安全確保」に関する獣医領域および畜産領域の融合分野による畜産物由来食品の安全性評価と衛生管理に特化した教育研究をおこなう。

養成する人材

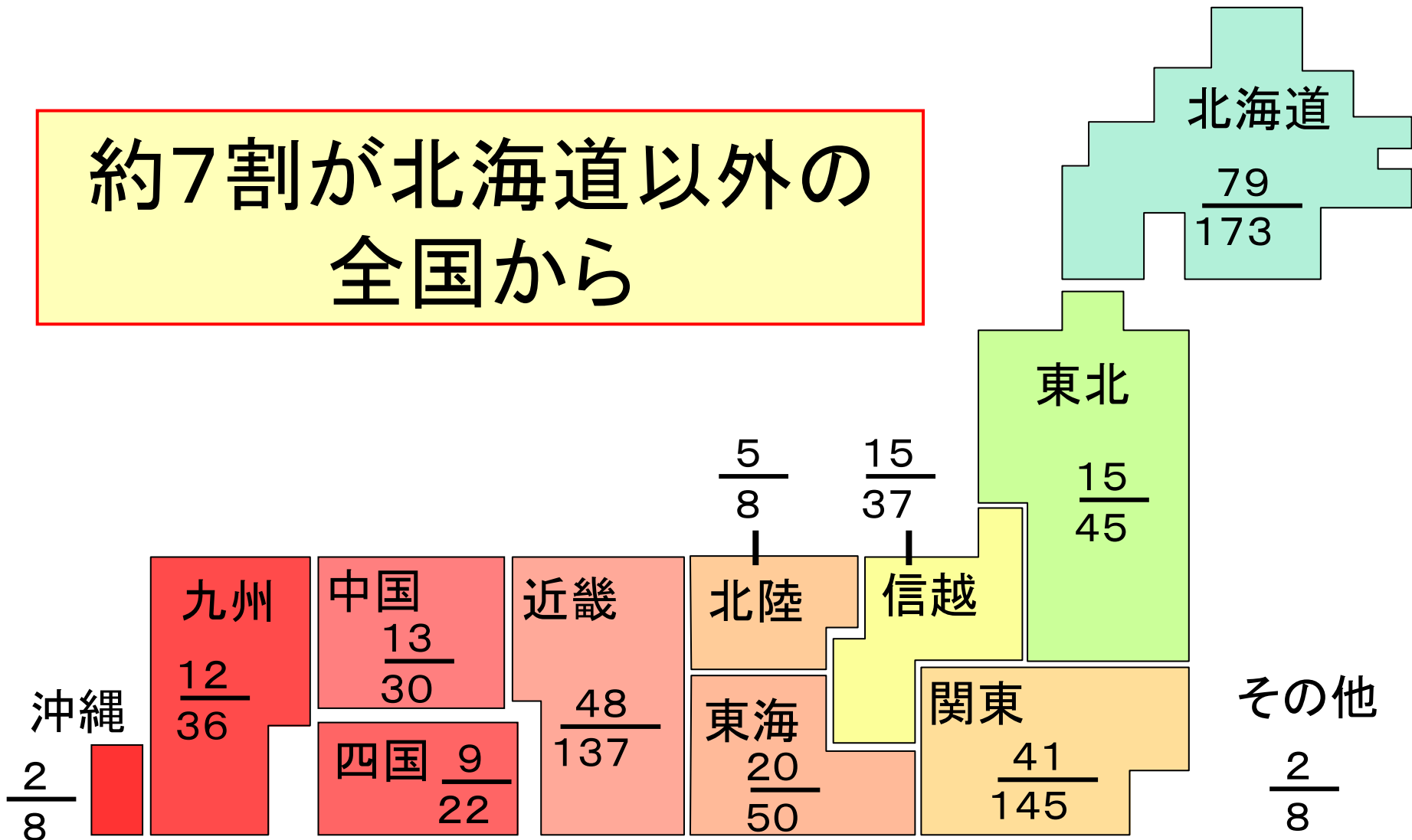
国際競争力のある創造性豊かな優れた研究開発能力を持つ研究者

確かな教育研究能力を有する大学教員

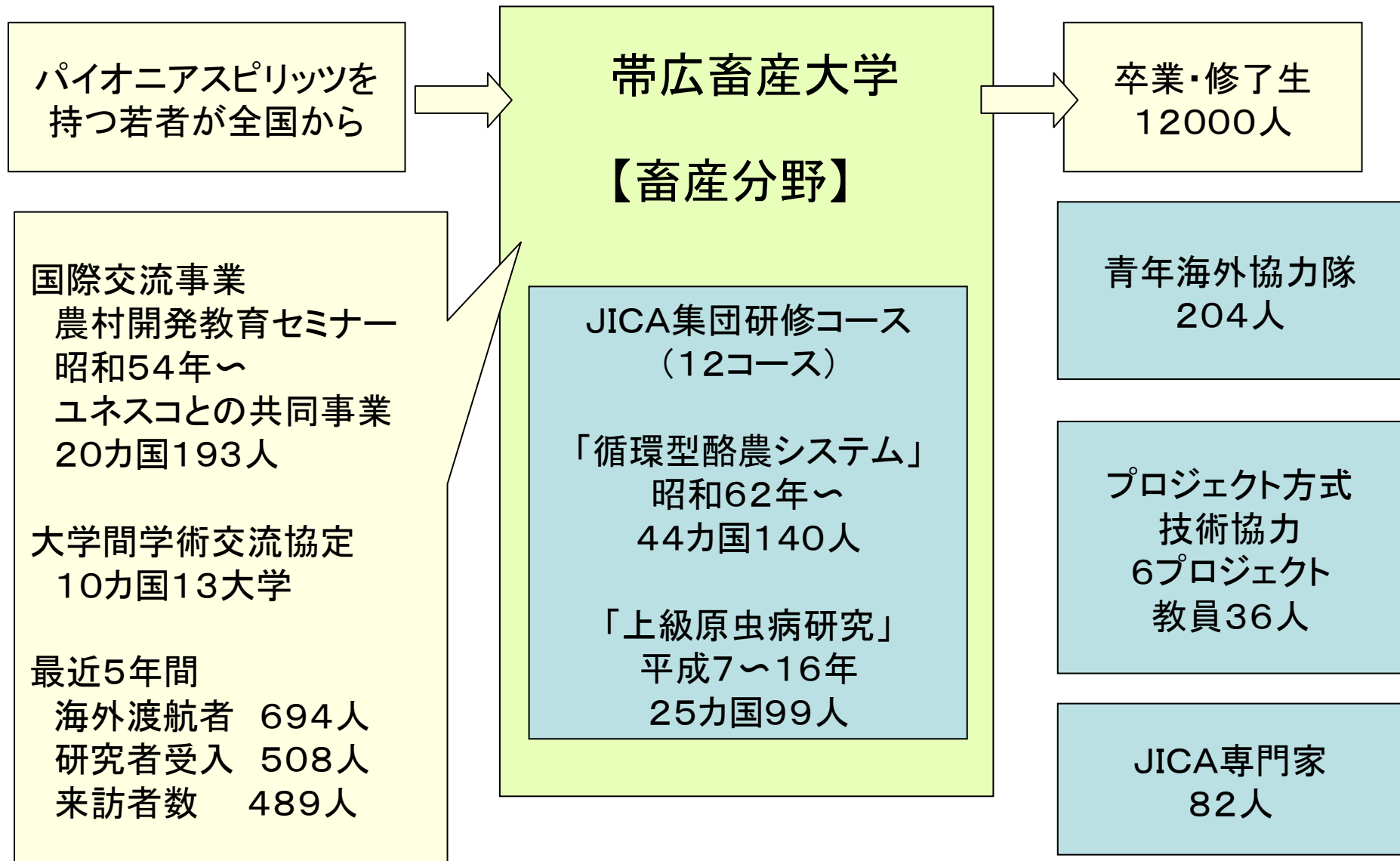
高度な知識・能力を持つ実務型高度専門職業人

平成18年度志願者・入学者状況

約7割が北海道以外の
全国から



帯広畜産大学における国際協力活動実績



国際社会との連携

外務大臣表彰(平成14年)

国際学術協力に関する実績評価



最高ランクの大学評価(平成15年)

文部科学省の大学評価・学位授与機構による「国際的な連携及び交流活動」で最高評価

JICA帯広国際センターと「覚書」を締結

平成16年6月

目的：国際協力に関する教育研究連携

「国際協力」特別講義

12回で1398人が受講

タイ国における海外実習

JICAプロジェクトに5名参加

集団研修コースを利用した国際実習



JICAとの連携（平成17年）

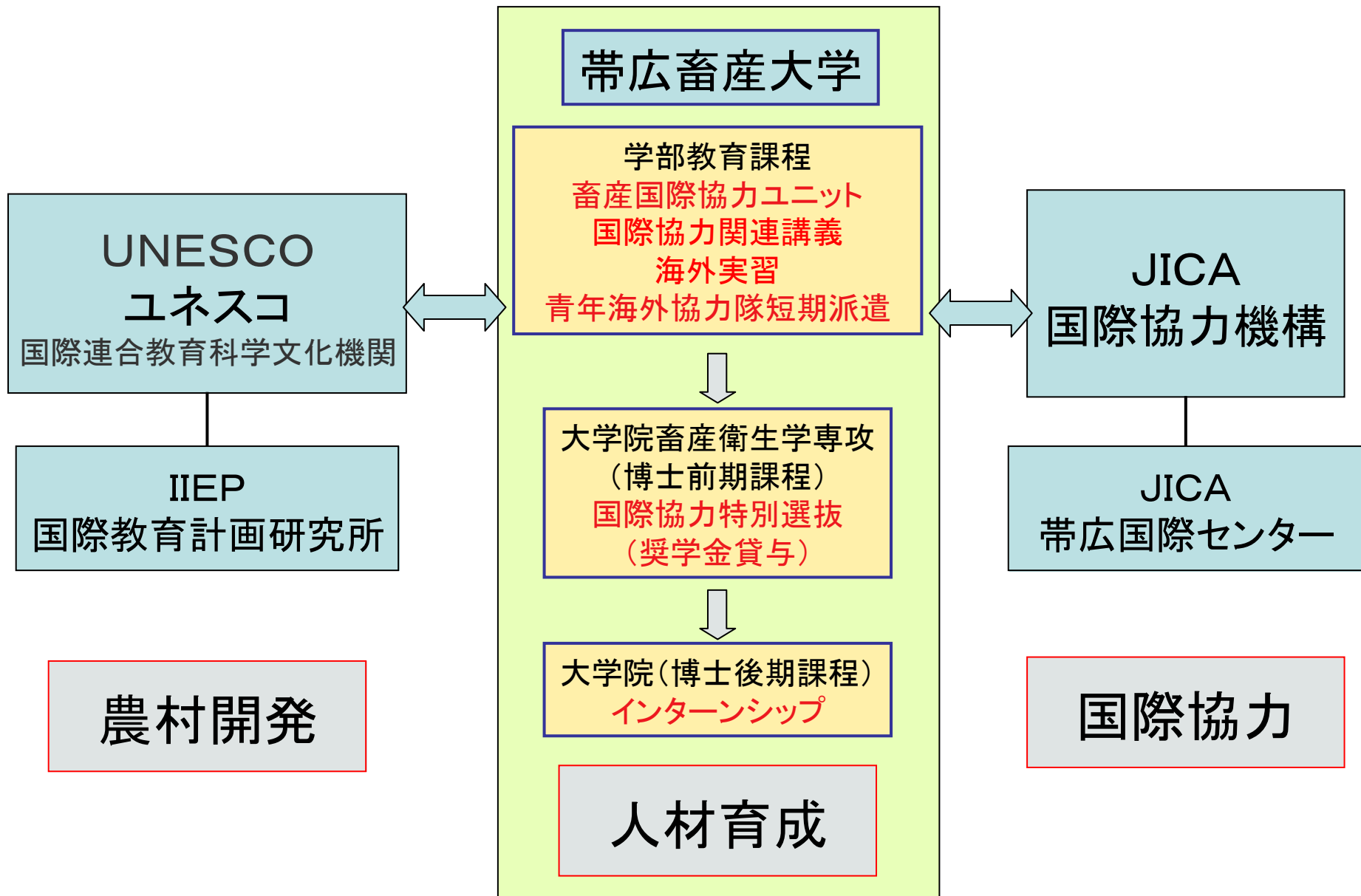
我が国第一号となる総括的協力協定締結



ユネスコIIEPとの連携（平成18年）

我が国で初（世界で2番目）となる包括的な連携協定を締結

真の国際協力に資する人材育成



国際協力特別選抜制度

海外の長期ボランティア経験者を対象とした特別支援制度

大学院畜産学研究科畜産衛生学専攻博士前期課程対象

奨学金として授業料相当額(月額5万円)を2年間貸与

修了後に国際協力関係の実務に従事した場合は奨学金の返還免除

平成18年に1名入学(青年海外協力隊従事者)

青年海外協力隊短期派遣

平成17年度

「フィリピン酪農開発強化プロジェクト」

第一次派遣 10人(4週間)

第二次派遣 4人(3週間)

「タイ国ウボンラチャタニ農業専門学校における家畜 飼育改善計画」

1人(4週間)





青年海外協力隊短期派遣

平成18年度

「フィリピン酪農開発強化プロジェクト」に関する合意書に署名

正規隊員として6人を
第三次派遣(6週間)



学内に「プロジェクト支援委員会」を設置

「海外ボランティアサークル」による派遣事前勉強会

国際協力人材育成サイクル

